

【試合結果】

男子 決勝トーナメント 3位決定戦																
日時	平成29年12月28日(木) 13:00 ~															
会場	湿原の風アリーナ釧路B															
結果	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="text-align:center; width:30%;">○</td> <td style="width:40%;"></td> <td style="text-align:center; width:30%;">●</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">帯広翔陽中</td> <td></td> <td style="text-align:center;">帯広南町中</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">帯広</td> <td></td> <td style="text-align:center;">帯広</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center; font-size:2em;">72</td> <td style="font-size:3em;">}</td> <td style="text-align:center; font-size:2em;">39</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;"> 20 - 11 16 - 10 18 - 14 18 - 4 OT </td> <td></td> </tr> </table>	○		●	帯広翔陽中		帯広南町中	帯広		帯広	72	}	39		20 - 11 16 - 10 18 - 14 18 - 4 OT	
	○		●													
帯広翔陽中		帯広南町中														
帯広		帯広														
72	}	39														
	20 - 11 16 - 10 18 - 14 18 - 4 OT															
審判	主審 伊勢谷 尚史 副審 牧野 兼作															

第32回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

帯広翔陽中		帯広						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	藤澤 新	×	13	0	6	1	7	1
5	寒川 敬太	×	32	3	11	1	5	0
6	村上 怜央	×	10	0	5	0	6	0
7	五十嵐 怜	×	7	1	2	0	2	0
8	酒井 蓮	×	10	0	5	0	3	1
9	藤澤 礼音	DNP	0					
10	徳野 仁	/	0	0	0	0	0	0
11	奥山 聖生	DNP	0					
12	池田 悠人	DNP	0					
13	金井 良太	DNP	0					
14	藤井 遙海	DNP	0					
15	佐々木 翔	DNP	0					
16	0	DNP	0					
17		DNP	0					
18	0	DNP	0					
HC	小笠原 良祝							
合計			72	4	29	2	23	2

帯広南町中		帯広						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	中橋 悠貴	×	2	0	1	0	2	0
5	西田 颯来	×	0	0	0	0	1	1
6	鈴木 翔	×	6	0	3	0	8	3
7	岡島 康晟	/	0	0	0	0	2	0
8	岩岡 里恩	DNP	0					
9	山崎 翔輝	DNP	0					
10	西田 晟来	DNP	0					
11	久朗津 広野	×	27	0	13	1	17	1
12	小林 潤生	/	0	0	0	0	1	3
13	米山 響	DNP	0					
14	加藤 理偉	DNP	0					
15	毛利 樹	DNP	0					
16	大野 創生	DNP	0					
17	宗形 健太郎	DNP	0					
18	山田 哲汰	×	4	0	2	0	2	1
HC	坂田 明彦							
合計			39	0	19	1	33	9

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

翔陽スタート#4#5#6#7#8、南町スタート#4#5#6#11#18
 両チームセットのマンツーマンでスタート。

1Q
 南町は#11のインサイドプレーで得点。対する翔陽は、#7の1ON1と#4と#6の2ON2からのプレーで得点。中盤、翔陽は激しいディフェンスからの速攻で、#5#8が得点を重ね、20-11で終える。

2Q
 翔陽は#5の速攻や連続3P、4番のインサイドプレーなどで得点を重ねる。南町は、#11の3連続得点で食い下がるが、翔陽の激しいディフェンスを崩せず、36-19で前半を終了。

3Q
 翔陽は、#7のゲームメイクと#8の献身的な動きから、#4#5#6が得点を重ねる。南町は、#4#11#18がインサイドで体を張ったプレーをするが、攻めあぐね得点を重ねられず、54-35。

4Q
 南町が、オールコートディフェンスを仕掛けるが、流れを引き寄せることができない。翔陽は、5人の連携プレーから得点を重ねる。翔陽は1試合通して、南町に流れを譲ることなく、リードを広げ72-39で地元対決を制する。